

基本理念

常に患者さんとご家族の立場に立って考え、行動します。
そして、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張っています。

基本方針

- 1、信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため
職員の研鑽と協調に努めます
- 2、患者、家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、
生き甲斐がもてるようチーム医療を推進します
- 3、地域に根ざした、住民とともに歩む病院（施設）を
目指します
- 4、病院（施設）の質を高め、健全経営に努めます
- 5、職業を通して、社会人としての豊かな人間性を養います



信頼される医療・福祉を目指して

医療法人和同会 -五日市和同会-



交通アクセス

○自動車

西広島バイパス木舟交差点・波出石交差点から、
県道41号五日市・筒賀線を北に約10分
※当院駐車場空スペースをご利用ください

○バス

JR五日市駅より広電バス藤の木団地行(北口)・湯来ロッジ行
(南口)乗車、河内下城バス停より徒歩5分

〒731-5152 広島県広島市佐伯区五日市町下河内188-6
<http://www.gh.wadoukai.jp>

○広島グリーンヒル病院

○広島グリーンヒル病院介護医療院

TEL 082-929-1110 FAX 082-927-2225

○介護老人保健施設 五日市幸楽苑

TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225

○五日市幸楽苑 通所リハビリテーション

TEL 082-927-1611 FAX 082-927-2225

○訪問看護ステーション ハローナース五日市

TEL 082-927-0700 FAX 082-929-1114

○認知症対応型共同生活介護 グループホーム五日市

TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225

○居宅介護支援事業所 なごみ

TEL 082-929-0753 FAX 082-927-2229

五日市和同会だより

第53号

令和7年4月

発行：広島グリーンヒル病院
編集：広報委員会



Photo by shio

自分を生きる

私たちの使命は、患者さん、ご利用者さんが自分らしく
生きられることの実現です。

1人ひとりが自分らしく生きるためには何が必要なのか、
私たちは考え、取り組んでいます。

令和7年 新年度を迎えて

満開の桜の花が咲きほこる春、今年は6名の新入職員に入社いただきました。

しかしながら、医療界全体には冷たい逆風が吹いているようです。

2024年の医療機関の倒産件数は帝国データバンクの公表データによると、過去最多の64件、休業・解散も722件で過去最多を更新したとのことです。この背景には、コロナ禍以降の受診者の選別意識の高まりや材料費・人件費の増大およびコロナ関連補助金・コロナ関連融資の返済開始などに起因する資金繰りの悪化などがあるとされています。さらに、受診者が減り、資金余力がなくなった施設はサービス品質が低下し、さらなる受診者の減少を招くという負のスパイラルに陥るとし、今後も倒産件数は高水準で推移するとの見方もあります。

当院では、現在までのところ、全職員の頑張りにより、それほど深刻な状況には至っていませんが、今後は決して楽観できる状況にはありません。

当院としては、新入職員をお迎えするにあたり、全職員が力をあわせて、なんとかこの難局を乗り越えて行こうとの決意を新たにしたところであります。

広島グリーンヒル病院
院長 藤本三喜夫



新年度ご挨拶

令和7年度については、令和6年度の介護報酬改定で示されたもののうち、未実施部分についての減算が開始されます。いまだ厚労省ははしごをかけておいて、皆が上ったら条件を付けてそれに満たなければ「はしごを外す」ことを「慣例」としてきました。今回も特に訪問系サービスについては多く見られます。いつもながらの光景ですが、これがお役所仕事でしょう。

先日我が国の出生者数（在日外国人も含みます）がまた過去最少記録となりました。片や高齢化率はさらに伸び、ますます高齢者を支える若者人口の減少と相まって介護保険制度の維持が重要となってきています。肩車介護とか言ってる場合ではなく、もうそれを示す言葉すらなくなってしまったのではないのでしょうか（一人では一人の高齢者を支えられないということです）。こうなるとあとに頼るものといえば「お金」しかないと感じます。つまり介護保険料アップでしょう。そうはいっても働き手がない現状です。介護現場での介護士は看護師の「3K」以上です。そこで出たのが介護士に対するベースアップです。考え方は分かりますが、多くの問題がついてきます。こういった問題は市区単位からの問題提起が必要ではないかと思っています。それが県に伝わり、国へ伝わります。この問題に関して県の医師会で担当していますのでなおさら感じており、膝をつき合わせた意見交換をしたいと考えています。よろしくお願いします。

別の話となりますが、令和7年は被爆後80年です。10月には長崎の出島メッセでIPPNW（核戦争防止国際医師会議）が開催されます（10月2～4日）。このたび被団協がノーベル平和賞を受賞しましたが、IPPNWやICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）も受賞しています。ぜひ、長崎市へ訪問し（観光がてら）、もう一度被爆地広島に住民として考えてみてください。時には介護の呪縛から離れてリフレッシュしましょう。

五日市幸楽苑
施設長 茗荷浩志



研修「高齢者の口腔ケア」を実施して

当院では、介護職や看護補助者の代表からなるリーダー会が、日々の業務改善や、介護の質の向上をめざして研修等を企画するなどの活動をしています。

今回、歯科衛生士さんを講師として招き「高齢者の口腔ケア」について研修会を開催したので報告します。研修会のねらいは次のとおりです。

- ① 高齢者の口腔ケアの意義を理解する
- ② 口腔機能の保持・改善に繋がるケアの方法を知る

口腔ケアは重要な日常業務のため、受講者は興味を持って参加しました。講義のあとで、二人一組となり、歯ブラシやスポンジブラシを使ってお互いの口腔ケアを実践しました。オブラートを口腔剥離上被膜に見立ててスポンジブラシで除去するのが難しく、何度も練習することで、コツを習得することができました。

講師の承諾を得て研修の様子を動画にし、期間限定で配信しました。研修当日の受講者は看護師6名 介護職12名でしたが、配信による受講者は看護師92名、介護職34名でした。合計144名（受講率82.8%）の職員が受講することができました。私たちは、今後も患者さんや入所者さんの健康維持に繋がるよう丁寧な口腔ケアを続けたいと思います。

最後になりましたが、口腔ケアの方法とそのポイントを分かりやすく講義してくださった講師に心より感謝申し上げます。

看護部リーダー会

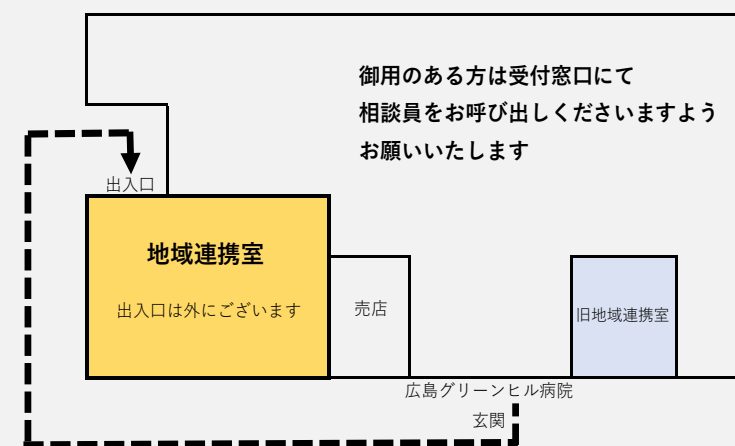


地域連携室が移転しました

この度、広島グリーンヒル病院地域連携室に3名の新入職員を迎え、これまで居宅介護支援事業所なごみが所在していた病院建物1F西側へ移転しました。

新入職員は急性期病院で看護師経験や退院支援の経験がある職員や、新たに地域連携室業務を担っていく職員など、これまでに様々な経験を積んだ職員の入職となりました。

地域の医療機関等関係者の皆様とは顔の見える関係で今まで以上の連携強化を図りたいと考えています。今後、新入職員を含めて御挨拶にお伺いさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



また、ご家族の皆様や今まで来室いただいた関係者の方々には、今までの所在と比べご不便をおかけする場所への移転となりますが、今まで同様、気軽に立ち寄っていただける地域連携室でありたいと考えています。また、ご意見やご要望等ございましたら遠慮なくお声がけください。

今後も広島グリーンヒル病院地域連携室をよろしくお願いいたします。

※「居宅介護支援事業所なごみ」は併設の老健施設2階に移転しました。